

Vol.95 spring



アンビシャス通信

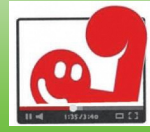
青少年アンビシャス運動20周年を記念して

令和4年3月1日(火)から、**青少年アンビシャス運動20周年記念フォーラム**をオンデマンド配信中です。

アンビシャス運動の20年間の取組を振り返る事業説明や、アンビシャス・青年リーダーによる活動報告、運動関係者によるパネルディスカッションの様子などが公開中ですので、是非ご覧ください！



視聴はホームページから
オンデマンド配信



パネルディスカッションの様子

青少年アンビシャス運動20周年特別表彰



青少年アンビシャス運動の立ち上げ期から現在まで20年以上にわたり本運動の推進に多大な貢献をいただいた横山正幸氏(福岡教育大学名誉教授)に対し、特別表彰(知事表彰)を行いました。

- 主な功績
- ・100人委員会 委員(平成12年2月～平成13年5月)
 - ・青少年アンビシャス運動合同検討会議 委員(平成18年9～11月、平成23年6～11月)
 - ・青少年アンビシャス運動推進本部 本部員及び推進委員会 委員長(平成13年5月～令和元年5月)

20周年記念地域行事の様子

国分アンビシャス広場開設20周年記念写真展 赤とんぼ村運動20周年記念木工体験&交流会



写真展の様子



「和ごま」対決の様子



広場で育ったOBも駆けつけました！



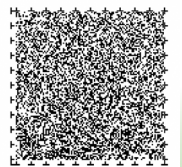
出来上がったアイス・カゴと集合写真



子どもとスタッフで協力して木工体験



アイス作りの様子



第19回青少年アンビシャス運動参加団体等表彰 団体表彰

(敬称略・50音順) 代表は令和4年1月時点

春日小学校アンビシャス広場

春日市

代表:平川 智子

春日小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。遊び研究所、フワアレンジメント、卓球教室、子ども将棋などを実施。

子どもたち自身が自由に考えて活動を行う「遊び研究所」では、看板の作成や工作など、子どもたちがやりたいことに對し、大人は材料の準備など最低限の援助のみ行うことで、子どもたちの考える力や自主性が育まれている。

公民館での夏祭りでは、広場の子もたちが中心になって企画や準備、司会、出し物を行えるようスタッフがサポートしており、子どもたちの企画力やチーム力、自専心を育むものとなるよう工夫している。



「遊び研究所」スノードーム作り

春日西アンビシャス広場

春日市

代表:白山 義章

春日西小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。昔遊び、自由遊び、ダブルダッチなどを実施。

3人以上で2本のロープを使って様々な技を交えながら跳ぶなわとび「ダブルダッチ」を地域のイベント等で披露しており、青少年アンビシャス運動フォーラムでも披露した。子どもたちはダブルダッチの練習を通して、何事もあきらめず、辛抱強く頑張る心を育てている。

広場OB・OGの中学生や高校生が運営スタッフとして広場運営を手伝うなど、子どもと広場のつながりが強く、好循環が生まれている。



ダブルダッチ

田隈アンビシャス広場

福岡市

代表:梅野 隆治

田隈小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。自由遊び、料理教室、季節の行事などを実施。

子ども料理教室では、毎月テーマを決めて実施。老人クラブ連合会と連携して、年1回は高齢者向けの料理を作り、一緒に食べたり自宅に料理を届けたりする取組を実施しており、子どもたちと高齢者の交流の場となっている。また、子どもたちは高齢者の方々から感謝されることで自分に自信を持ち、自尊感情が高まる取組となっている。

地域の方の協力を得て、石けん作り、博多人形師による色つけ教室など、子どもたちが様々な体験活動ができる機会を提供している。



子ども料理「おもてなし」

寺福童アンビシャス広場

小郡市

代表:千葉 純子

小郡小学校区(寺福童地区)の小学生を対象としたアンビシャス広場。宿題や自由遊び、季節の行事等を実施。

小郡小学校区にある他の4つのアンビシャス広場と合同でイベントを開催したり、小郡アンビネット地域連携協議会が開催するイベントに参画したりすることで、他の広場や団体の子どもたちとの交流、様々な体験ができるよう取り組んでいる。

イベント企画時には、スタッフだけでなく子どもたちも話し合いに参加できるようにしており、子どもたち自身の意見を尊重することで、子どもたちの自主性を伸ばしている。



季節行事「そうめん流し」

特定非営利活動法人KID's work(キッズワーク)

北九州市

代表:大久保 大助

小学生を対象とした野外活動(北九州市内55kmを歩いて移動する3泊4日キャンプ、北九州市馬島での5泊6日キャンプ等)の企画・運営を実施。

他のNPO法人と連携しながら、自然に親しみながら困難を克服するキャンプ、散策しながら自然にかかわることを楽しむ等、参加する子どもに合わせたプログラムを設定し、外遊びや体験活動の機会を提供している。

小学生対象に野外体験の機会を提供するだけでなく、中学生、高校生、大学生スタッフの育成にも力を入れており、コロナ禍におけるオンラインの活用も含めて、野外活動に必要な知識・スキル等の指導も尽力している。



「KID's workウォーク&キャンプ」血倉山登山

西っ子アンビシャス広場

古賀市

代表:木下 忠

古賀西小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。校区内の5自治公民館それぞれで居場所づくり、校区合同のイベントとして、「ビッグボイスコンテスト」「水泳教室」「親子釣り体験」等を実施。

「ビッグボイスコンテスト」は、大きな声であいさつすることへの羞恥心を無くすだけでなく、普段お世話になっている周囲への感謝の気持ちを、子どもたちが再認識できる機会となっている。

小学校や自治会、シニアクラブ、子ども会など地域と連携することで、水泳教室や親子釣り体験、夏祭り、餅つき大会など様々な体験活動の機会を提供している。



親子釣り体験

日本ボーイスカウト福岡県連盟福岡第22団

福岡市

代表:持永 英輔

団専用野営場でのキャンプ、桑の葉栽培を通じた九州大学での蚕を使った抗体研究への協力、九州大学研究室訪問等を実施。

幼稚園児から中学3年生まで幅広い年齢層での合同キャンプを実施し、異年齢交流の場を設けるとともに、年齢に応じた体験活動を協力して行わせることで、子どもたちの協調性や自主性を育てている。

子どもたちが栽培した桑の葉を九州大学に無償で提供し、九州大学での蚕を使った抗体研究に協力。子どもたちは九州大学研究室を訪問し、蚕に直接触れながら研究内容の説明を受けるなど、大学と連携した学びの場づくりを実施している。



九州大学研究室訪問

祓郷アンビシャス広場

みやこ町

代表:池上 茂樹

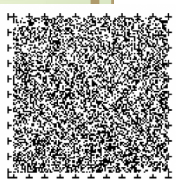
祓郷小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。ソフトバレー、読み聞かせ、料理教室などを実施。

地域の各団体(区会長・老人会)や小・中学校と連携し、多くの子どもたちが様々な体験ができるように広場の施設や遊具などの環境が整備されてきているため、子ども達の参加が増加している。

年2回程度アンビシャス委員会を開催し、行事予定を周知して人員を割り振る等、計画性をもって広場を開放しており、子ども達が気軽に集える場所になっている。



季節行事「餅つき大会」



久山わいわいクラブアンビシャス広場

代表:金永 節子

久山町

久原小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。自由遊び、夏休みの体験活動、久山町の環境を生かした自然体験活動などを実施。

地域の水田を活用したどろんこ運動会(どろんこソリ対決、どろんこ自転車対決、どろんこフラッグ、どろんこパレーボール対決)など、自然にふれあいながら郷土に愛着をもつ取組を長年、実施している。

シニアクラブの方々と定期的に交流しており、子どもたちにとって安心できる場、シニアクラブの方々にとっては元気をもらえる場として、地域の居場所となっている。



夏休みの体験活動「野菜スタンプ作り」

三毛門地区アンビシャス広場

代表:篠原 孝仁

豊前市

三毛門小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。ヒップホップダンス、体験活動、夏休み朝学習などを実施。

夏休み朝学習は、夏休みの宿題を見守るだけでなく、学習後に税理士による税の講話、交通安全の話、歴史学習、キッズマネースクールなど様々な体験活動の機会を提供している。

自治会、学校、保護者とともにアンビシャス広場の活動に対する理解・協力が得られており、子どもたちだけでなく大人も積極的に活動に参加している。



ヒップホップダンス

第19回青少年アンビシャス運動参加団体等表彰 個人表彰

(敬称略・50音順)

一柳 より子 氏

絵本とおはなしペペペらん・代表

篠栗町

長年に亘り、幼稚園や小学校、公民館、書店などでの定期的なおはなし会を中心に、子どもたちの情緒豊かな心を育て、健全育成を図っている。

乳幼児期に合った絵本の選び方や親子で絵本を楽しむ方法を学べるブックスタート講座を開催したり、高校の家庭科の授業の中で、幼稚園実習前の講義を行い、本の選び方や子どもたちとの接し方を教えて生徒に自信をもって実習に臨ませたりする等、幼少期から本に親しむ習慣を養う人材を育てるための指導・助言を行っている。



草野 三保子 氏

古賀子どもの本の交流会・代表

古賀市

長年に亘り、古賀市内の3小学校(古賀西、千鳥、小野小学校)でのおはなし会や、大人(保護者、読書ボランティア)を対象とした研修会、様々な体験活動(科学あそび、食育、人形劇など)を中心に企画・運営している。

平成22年度から現在に至るまで、青少年アンビシャス運動に係る「アンビシャス・だっこDEブックプロジェクト」の実地指導員や「絵本コンシェルジュ養成講座」の講師として活動しており、県内の読み聞かせボランティアの資質向上を以って、本運動の推進に貢献している。



竹村 千代香 氏

添田町虹の会・代表

添田町

長年に亘り、保育園、小学校、子育て支援センター、児童館等でのおはなし会を中心に企画・運営している。

生後4か月から1歳半までの乳幼児健診での読み聞かせ会、高齢者施設での読み聞かせ会など活動の場を広げ、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした読書活動を行っている。

布の絵本やからくり絵本等は手作りを基本としており、手作りのエプロンシアターやパネルシアターなどを行っている。そうした経験を生かし、布の絵本やおもちゃを制作する講座を開催しており、多方面から読書活動を展開している。



中木戸 育子 氏

長住アンビシャス広場・委員長

福岡市

自ら代表として長住アンビシャス広場を立ち上げてから現在まで20年以上に亘り、毎週広場に参加し、手芸教室や体験活動における子どもへの指導など、広場運営の中心的役割を担っている。

毎年4月に子ども企画会議を開き、毎月のイベントの企画について、子どもたちが何をしたいのか意見を取り入れながら、季節行事(ぞうめん流し、サンマ焼き、お月見、クリスマスツリー装飾)や伝統文化体験(百人一首、お茶体験)を積極的に企画し、イベント当日は子ども達への指導を行うなど、中心的に携わっている。



野見山 ミチ子 氏

特定非営利活動法人直方川づくりの会・代表

飯塚市

長年に亘り、「川づくりは人づくり、人づくりはまちづくり」を理念とした様々な環境教育及び環境保全活動を実践している。遠賀川の清掃活動や遠賀川周辺の自然を活かした体験学習等を通じ、次世代を担う子どもたちが、環境、水、歴史等を学び、自ら体験することにより、豊かな心を養い、幅広い視野を持って将来の夢の実現に向け頑張ることができる力を養えるよう活動を行っている。

活動内容と対象年齢に応じた体験活動ができるグループを設けており、当団体での活動をきっかけにして、大学生や社会人になって自然や河川にかかわる研究や仕事をしている者も多くなる。



第19回青少年アンビシャス運動参加団体等表彰 感謝状交付

(敬称略・50音順)

相地 やちよ 氏 (みやま市)

ばっち・チョー遊ぼう学級 事務局

白石 妙子 氏 (香春町)

あしたばの会 事務係

竹下 和信 氏 (香春町)

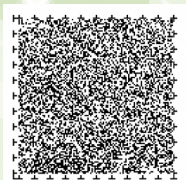
田川de寺子屋プロジェクト 食育部門代表

萬田 美代子 氏 (小竹町)

アンビシャス・青年リーダー養成事業北九州地域企画運営委員会 委員

宮原 ゆう子 氏 (北九州市)

竹の子プレイスクールスポーツ少年団 指導員



「青少年アンビシャス運動支援の会」 入会・寄付のお願い



福岡県の未来を担う青少年健全育成の支援の輪を広げよう！企業の皆様のご入会・ご寄付金をお願いします。



令和3年度も、表彰団体に対し、支援の会から副賞が贈呈されました



※令和4年4月1日付で日本ユニシス(株)は、BIPROGY(株)に社名変更予定です

【問い合わせ先】
青少年アンビシャス運動支援の会事務局
TEL:090-5087-6623
青少年アンビシャス運動支援の会ホームページ
<http://www.ambitious-fukuoka.com/>

筑後で遊んで学ぶ



「ちくご子どもキャンパス」に参加しませんか？

筑後田園都市推進評議会では、筑後地域の歴史・自然・文化・産業などを学ぶ、主に小学生を対象とした体験プログラム「ちくご子どもキャンパス」を実施しています。現在、実施団体を募集中。御登録いただくとチラシやHPにプログラムを無料で掲載します。詳細は評議会事務局（TEL：092-643-3177）までお問合せください。



青少年アンビシャス運動支援の会 支援企業紹介

「デジタルコモンズ」で持続可能社会を 2022年4月、新社名「BIPROGY」へ
— 私たちは、未来の持続可能社会の担い手となる青少年の健全育成を応援します！ —



日本ユニシス株式会社は、2022年4月より
BIPROGY株式会社へ。

日本ユニシス(東京、社長平岡昭良)は、日本初の商用コンピューターの提供以来、60年以上にわたって社会や産業を支えるシステムの構築やICTサービスの提供により、日本国内の情報サービス産業の形成・発展に貢献してきました。

また、SDGsに代表されるように持続可能な社会の実現に向けて、早くから業種・業態の垣根を越え、さまざまな企業をつなぐ「ビジネスエコシステム」の中核となり、顧客・パートナー企業と共に、社会を豊かにする新しい価値の創造と社会課題の解決に取り組んできました。

そしてこれらの取り組みを加速させ、社会的価値創出企業に変革していくため、2030年までの目指す姿として「Vision2030」を制定しました。

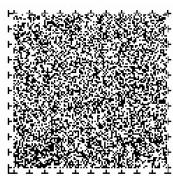
この中で掲げているのが「デジタルコモンズ」で、「ビジネスエコシステム」からさらに一歩進んで、「社会的価値」と「経済的価値」の創出という両輪を回し、持続可能な社会づくりを目指していきます。さらにこれに合わせてコーポレートブランドも刷新。2022年4月1日付で会社名(商号)を『BIPROGY(ビプロジー)株式会社』に変更します。新社名の由来は、光が屈折・反射した時に見える7色(Blue、Indigo、Purple、Red、Orange、Green、Yellow)の頭文字を使った造語です。光を集約し、7色に輝かせるハンズオンカンパニーとして、あらゆる垣根を越えた先にある、「光彩」が混ざりあった世界を表現するとともに、「さまざまなビジネスパートナーや多種多様な人々がもつ光彩を掛け合わせ、混んとした社会の中で新たな道を照らし出す」、そして「光彩が状況に応じて変化するように、社会や環境変化に応じて提供する価値を変えていく」、そのようになりたいという思いが込められています。

青少年アンビシャス運動参加証新規交付団体一覧(第159～第161回)累計1,981団体

No.	7の提案	団体名	代表者氏名	活動内容	所在市町村	参加証No.
1	2 地域ぐるみで子どもを育てよう	あそびのサークル	吉田 麻由美	子ども達が輝いている地域づくり	鞍手郡小竹町	2292
2	5 自らを鍛え、得意技を持とう	那珂川ジュニアサイクルスポーツクラブ	梶谷 利治	ジュニアハンドサイクルサッカー教室	那珂川市	2294
3	7 大学も企業もアンビシャス運動を応援しよう	ポップコーン株式会社	大澤 陽平	英語、中国語で絵本の朗読会を行います!	東京都	2293

(第159回)令和3年12月1日参加証交付分 1団体
(第160回)令和4年1月1日参加証交付分 1団体

(第161回)令和4年2月1日参加証交付分 1団体



※アンビシャス通信(95号)へのご意見・ご感想はコチラから



★アンビシャス通信 Vol.95 / 令和4年3月発行
★編集・発行/福岡県青少年育成課 〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
TEL 092-643-3615 FAX 092-643-3389
Email : ambitious@pref.fukuoka.lg.jp
ホームページ <https://www.ambitious.pref.fukuoka.jp/>